

標準化 TF  
属性項目解説書  
0.共通

2026. 03. 13

標準化 TF

# 目次

I. この解説書について .....	1
II. 共通事項 .....	2
1. 標準属性項リストの見方【フィルタセット】 .....	2
1-1. 検討チーム .....	2
1-2. 階層 1-1~5 2-1~5 .....	3
1-3. 区分 1~5 .....	4
2. 標準属性項目リストの見方【共通フィールド】 .....	5
2-1. 属性 ID .....	5
2-2. 属性項目名（日本語） .....	5
2-3. 属性項目名（英語） .....	6
2-4. データタイプ .....	6
2-5. 単位 .....	6
2-6. 入力値（参考値） .....	7
2-7. 属性項目説明 .....	7

3. 標準属性項目リストに表現していないフィールド【個別フィールド】 .....	8
3-1. ユースケースとステージと役割区分と詳細度 .....	8
4. 標準属性項目リストの EXCEL 版の見方 .....	9
4-1. 標準属性項目リストの EXCEL データの使い方 .....	9

# I. この解説書について

この解説書は、別紙標準属性項目リストの内容のうち意匠・構造・設備に共通する部分を解説したものである。その構成は以下のようになっている。

## II. 共通事項

標準属性項目リストの見方について、フィールドを中心に解説している。

今回公開する標準属性項目リストは一つの区切りとしての成果品である。しかし、これで全てが完了したわけではない。今後も様々な検証や、社会実装していく過程からのフィードバックなどを適切に標準属性項目リストに反映していくが必要になると思われる。この解説書が、このような検証、フィードバック、改訂などを行いやすくするために役立つことを願っている。

## II. 共通事項

標準属性項目リストの見方について、フィールドを中心に解説する。

別紙概要書に説明している【フィルタセット】、【共通フィールド】、【個別フィールド】ごとに解説する。

### 1. 標準属性項目リストの見方 【フィルタセット】

#### 1-1. 検討チーム

このフィールドが示しているものは、ただ検討を行ったチームを示しているだけである。その値として‘意匠’が入力されていたとしても、その行のデータが意匠のみに利用されることを示しているものではない。情報連携の過程では、あるステージで意匠が入力した値を、次のステージで設備や構造で利用したりすることはよくあることである。さらに属性項目によっては、引継ぎを行いその値の更新を別の関係者が行うなど様々なことが考えられる。

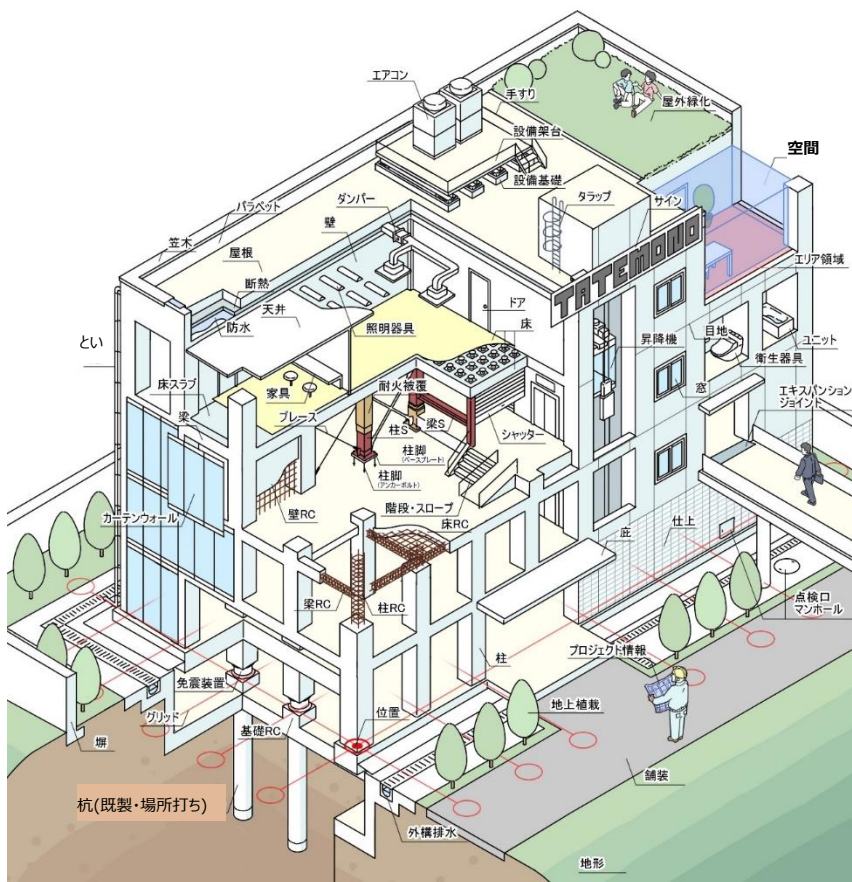
今回は 意匠・構造・設備・共通 の4つの値が入力されている。施工に関しては別のシートとしているため今回は入力されていないが、今後同じフォーマットにしていく予定である。

この検討チームのフィールドの使い方としては、どこの検討チームが整理した属性項目なのかをフィルタリングしたり、ソートしたりするときに主に活用することができる。

## 1-2. 階層 1-1~5 2-1~5

当標準化 TF は、オブジェクトの分類体系を検討する TF ではない。但し、属性項目が何のオブジェクトのものなのかを整理しておかないと、検討や確認をすることが困難となる。

そこで TF で仮に定めた階層 1 と階層 2 の概要をここに示したいのですが意匠、構造、設備それぞれで行った整理の考え方が異なっているので、意構設それぞれの解説書で説明することとした。これはあくまで、属性項目の閲覧性及び検索性を高めるために利用することが第一の目的であるため、そのような整理でまとめることとした。



このような考え方で整理しているので、階層 1-1~5 と階層 2-1~5 の各フィールドを適宜利用してフィルタリングしたり、ソートすることで必要な属性項目を探したりする場合に活用することができる。

ここでは参考に、階層 1-1 に記載している主な部位別オブジェクトを左図のようにイラストで提示することとした。

### 1-3. 区分 1~5

オブジェクトの分類とは別に属性項目の特性に合わせて分類を整理した。これも仮に定めたものであり、厳密な分類体系を示すものではないが、以下の表のように、材質と形状または種類を分類する属性の区分を示すために仮に定めたものとしている。このフィールドもフィルタリングしたり、ソートすることで必要な属性項目を探したりする場合に主に活用することができる。

ここでは例として意匠の区分を示す。

区分	説明欄	区分	説明欄
識別情報	各オブジェクトの識別に関する情報	法規関連情報	各オブジェクトの法規に関する情報
寸法情報	各オブジェクトの大きさに関する情報	付属・付帯情報	各オブジェクトの付属品や付帯するものに関する情報
材料情報	各オブジェクトの材料に関する情報	工法情報	各オブジェクトの工法に関する情報
性能情報	各オブジェクトの性能に関する情報	形式情報	各オブジェクトの形式に関する情報
図面情報	各オブジェクトの図面を参照する情報及び、図面化する場合に必要な情報	……	その他適宜
配置情報	各オブジェクトの位置に関する情報		
形状情報	各オブジェクトの形状に関する情報		

なお、構造と設備は別の整理を行っている。

## 2. 標準属性項目リストの見方【共通フィールド】

### 2-1. 属性 ID

属性項目に対し、固有で付与する ID であり、属性項目説明にて ID の位置づけを判断する最重要フィールドである。この ID に意味は持たせていない。

### 2-2. 属性項目名（日本語）

属性項目名の日本語を入力している。ここでは複数の同じ名称のものも含まれている。それらは前述の階層 1-1~5 2-1~5 等のフィルタセットで整理されて、それぞれ個別の意味を持っていることが示されている。この属性項目名を決める際の最低限のルールとして、以下の表のとおり定めている。

ルール	説明
全角・半角の使い分けは説明欄の通りにする。	日本語(漢字、ひらがな、カタカナ)はすべて全角とする。英数字記号はすべて半角とする
説明欄に挙げた禁則文字は利用しない	/ ? < > ¥ : *   ",
区切りにスペースは使わない。	代わりにアンダーバー_を利用する
使用する用語が複数ある場合は、以下の書籍の用語を基本とする。 <input type="checkbox"/> 建築基準法 <input type="checkbox"/> 公共建築工事標準仕様書 <input type="checkbox"/> 建築物の構造関係技術解説書	がらすを【硝子】、【ガラス】のどれを採用するか迷った場合は、【ガラス】とする。

一部従来から使用されている属性項目名のうち、このルールに合わせる事が困難である属性項目はこのルールにあっていないものも存在する。

### 2-3. 属性項目名（英語）

現在は空欄となっている。今後、何のための英語表記であるかを整理し、必要があれば入力していく予定である。

### 2-4. データタイプ

属性項目の情報特性を示す。データベースやプログラムでの実装を想定した分類であり、今後はより詳細な分類が必要になる可能性はあるが、現時点での意匠チームの基本的な整理として以下の表のとおり設定している。構造や設備に関してはそれぞれの解説書を参照のこと。

データタイプ	説明
テキスト	文字として記述、分数などの表記も含む
整数	整数で表記する
実数	実数で表記する
Boolean	True/False で表記する
選択項目	選択肢の中から、文字列や数値(整数、実数)を選ぶもの

### 2-5. 単位

属性項目に対する単位を示す。ここでは参考に意匠で利用した単位を示す。構造や設備に関してはそれぞれの解説書を参照のこと。

kg	min	N/m <sup>2</sup>	個	本	%	kg/m <sup>3</sup>	mm	t/m <sup>3</sup>	時間	℃	l	mm/10min	N/mm <sup>2</sup>	人
cm	m	mm/h	V	人/h	G	m/min	N	W/m <sup>2</sup> ·K	度	Hz	m <sup>2</sup>	N/m	箇所	年

---

## 2-6. 入力値（参考値）

---

「入力値」にはそれぞれ項目をよりわかりやすくするために、属性項目に記載される値の一例を示している。

- テキストの場合は自由記述だが、一例を示している。候補例は「, 」区切りで表示している。テキストであっても、型鋼の呼び名などの場合は単位を表記しているものもある。
- 選択項目の場合は、選択項目を「/」で分けている。選択項目でも数値(整数、実数)が記載される場合は単位を表記している。
- 整数・実数の場合は、数値を入力している。
- Boolean の場合、「有/無」「はい/いいえ」などは「True/False」に表現を統一している。

---

## 2-7. 属性項目説明

---

属性項目はそれだけを見ても対象やその内容がわからない場合があり、これを補足するために「属性項目の説明」を記載している。

### 3. 標準属性項目リストに表現していないフィールド【個別フィールド】

個別のフィールドは、今回公開の標準属性項目リストには記載していないが、バックデータとして以下に示すフィールドがある。

ユースケース、ステージ、役割区分、詳細度等については MET での利用を想定している。別紙：ユースケース意構設連携を参照のこと。

#### 3-1. 改訂仕分 履歴備考

改訂履歴を管理するための新たな欄を設けている。

#### 3-2. 計算情報

計算情報か否か、その計算情報の種別（入力値か結果か）を記載する欄を設けている。計算情報については別紙：標準属性項目の改訂報告書を参照のこと。

## 4. 標準属性項目リストの EXCEL 版の見方

標準化タスクフォース「I .属性情報の標準化」の整備の中で、ロングリストとして属性項目を網羅的にまとめた。

標準属性項目リストの pdf は、ロングリストとして属性項目を網羅的にまとめたものだが、事前に意見照会した際にもご意見いただきました通り、閲覧性や検索性に不向きです。標

準属性項目リストの Excel 版は、閲覧性及び検索性を高めるためにフィルタセットを付与したものである。

今後は何かしらのシステムとの連携を検討しているが、まずは Excel リストとしてご活用を想定している。

### 4-1. 標準属性項目リストの EXCEL データの使い方

#### 1 フィルターセットの表示

1	+	+	+				
2	A	C	D	I	N	S	T
1	検討チー	階層1-1	階層2-1	区分1	共通ID	属性項目名 (日本語)	属性
2	意匠	エキスパンションジョイント		識別情報		EXPJタイプ	
3	意匠	エキスパンションジョイント		識別情報		EXPJタイプ	
4	意匠	エキスパンションジョイント		識別情報		EXPJタイプ	

フィルターセットについては、構成ごとにグループ化している。

リスト上部のプラスボタン (+) を押下することで表示可能である。

## 2 フィルターセットの使い方

例) 意匠壁の性能のパラメータを確認したい 場合

1. 「検討チーム」フィールドのプルダウンにて、「意匠」を選択する
2. 「階層1-1」フィールドのプルダウンにて、「壁」を選択する
3. 「区分1」フィールドのプルダウンにて、「性能情報」を選択する
4. 性能に関わる属性項目のリストが確認できる

The screenshot illustrates the filter selection process in three panels:

- Panel 1:** The '検討チーム' dropdown is set to '意匠'. The search results show '意匠' selected under '(すべて選択)'.
- Panel 2:** The '階層1-1' dropdown is set to '壁'. The search results show '壁' selected under '(すべて選択)'.
- Panel 3:** The '区分1' dropdown is set to '性能情報'. The search results show '性能情報' selected under '(すべて選択)'.

On the right, a table shows the resulting attribute list with '性能情報' selected:

区分1	共通ID	属性項目名 (日本語)
1479		意匠性能
1480		階層性能
1481		性能情報
1482		耐火性能

💡 どの階層に含まれるか不明、もしくは想定した階層に対象がない場合

「属性項目名 (日本語)」や「属性項目説明」フィールドから関連しそうなワードを検索してみてください

💡 構造に関連するもののみ抜き出したい場合

「検討チーム」フィールドをプルダウンして、「構造」でフィルターをかけてみてください